

第14号広報誌

発行日 平成29年11月28日

高千穂町国民健康保険病院広報誌

町立病院だより

ひとよこい

高千穂町国民健康保険病院 広報・接遇委員会

お知らせ

広報誌の名前が変わりました。以前までは『ゆるり』という名前でしたが高千穂の病院らしい名前を院内で募集したところ28題の応募があり、その中から『町立病院だより ひとよこい』に決まりました。今後とも高千穂町立病院広報誌をよろしくお願いいたします。

常光寺の滝（上岩戸）

寺の住職がこの滝の水を飲み、長生きしたことから「長寿の滝」やその風貌から「白糸の滝」といわれる。

当院のホームページはこちら
<http://www.takachiho-hp.jp/>



けんこうフェス2017

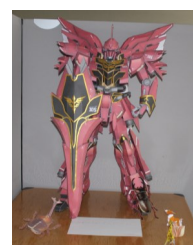
当院と保健福祉総合センターげんき荘が合同で開催している毎年恒例のけんこうフェスが8月5日に開催されました。

台風5号が接近する中であいにくの天気にも関わらず多数の方々にお越しいただきました。

メインイベントでは町内の小学生が一日総院長などに任命され院長と一緒に回診を行ったり、患者様たちと触れ合いました。



左写真の右から一日総院長の戸高 日奈乃さん(高千穂小学校6年)、一日院長の興枺 あずみさん(高千穂小学校5年)、一日総看護師長の富高 千夏さん(田原小学校5年)、一日看護師長の安在 美結さん(上野小学校4年)



第28回宮崎県国保地域医療学会

10月28日～29日にシーガイアコンベンションセンター（宮崎市）で第28回宮崎県国保地域医療学会（久米修一 学会長：高千穂町国民健康保険病院）が開催されました。当院から7演題の研究発表と興梠裕樹看護師のパネルディスカッションが行われました。28日は予定通り行われましたが、29日は台風22号の影響により中止となりました。28日の表彰式では第27回宮崎県国保地域医療学会で最優秀研究に選ばれた当院の佐藤政徳看護師が表彰されました。



表彰を受ける佐藤政徳看護師



発表する佐藤美樹子社会福祉士（左）と興梠直美理学療法士（右）

親和会ミニ運動会

10月13日に高千穂町立病院親和会のレクリエーションでミニ運動会が開催されました。赤団と白団に分かれ、ラジオ体操から始まった運動会は風船割りや綱引き、玉入れなど様々な競技で盛り上がりを魅せていました。どの競技もお互い譲らず接戦の末に白団が優勝しました。



【受付時間】

7:30～11:30（月～金） 及び 14:00～16:00（耳鼻咽喉科:月水金）
15:20～16:30（小児科）

平成29年10月1日現在

【平成29年度外来診察表】

診療科		月	火	水	木	金
内科	1診	押方	押方	押方	興柁(智)	押方
	2診	伊瀬知	伊瀬知	興柁(智)	伊瀬知	興柁(智)
	3診	黒木(大)	興柁(智)	黒木(大)	黒木(大)	黒木(大)
	4診	黒木(美)	黒木(美)	伊瀬知	黒木(美)	黒木(美)
神経内科	神経内科は第4金曜日のみ(完全予約制)					
腎臓内科	第1金曜:小倉記念病院医師、第3金曜日:九大病院医師(13:00～14:30)					
外科		久米	山下	久米	担当医	山下
整形外科		塩月	塩月	塩月	塩月	塩月
		北島	北島	北島	北島	北島
眼科※1		(熊大眼科)	-	(熊大眼科)	-	(熊大眼科)
小児科※2		興柁(知)	興柁(知)	興柁(知)	興柁(知)	興柁(知)
泌尿器科		(村上)	-	-	(元島)	-
循環器科		-	(済生会医師)	-	-	(済生会医師)
耳鼻咽喉科		甲斐	甲斐(午前のみ)	甲斐	甲斐(午前のみ)	甲斐
皮膚科		(熊大皮膚科)	-	(福島)	-	(熊大皮膚科)

※1:眼科予約は、平日、月・火・木曜日の午後2時から午後5時まで、電話にて受け付けています。

※2:第3金曜日の小児科は熊大医師が担当する場合があります。6月、7月、9月、10月、12月、2月、3月の第1水曜日の小児科は健診業務のため午後は休診になりますのでご注意ください。



北島先生インタビュー

今年の10月から当院の整形外科に勤務することとなりました北島 潤弥 先生にインタビューをしました。



整形外科
北島 潤弥 先生

- ◇ 高千穂の印象を教えてください。
住みやすく、お酒がおいしいです。
- ◇ ご結婚はされていますか？
結婚してます。10月1日に入籍し単身赴任です。
- ◇ 好きなスポーツはなんですか？
バレー。歌うことが好きです。
- ◇ 医者になろうと思ったきっかけを教えてください。
小児の時に、脳炎で入院し先生がやさしく、それが一つのきっかけです。
- ◇ 最後に一言お願いします。
地域医療に貢献できる医師を目指しています。よろしくお願いします。

編集後記

タイトルも変わり、リニューアルしてお届けしました今回の「町立病院だより ひとよこい」いかがだったでしょうか。「ひとよこい」とは、高千穂弁で「ひと休み」という意味です。当院は医療機関なので、当然お体がすぐれず、不安やつらい思いをなさっている方々がいらっしゃいますが、せめてひとときの安らぎをご提供できればとの願いを込めて、このタイトルに決定しました。私たちスタッフ一同、これからも患者様及び来院される方々の心に寄り添うことができる病院を目指してまいります。

願わくば、「ひとよこい」する場としてたくさんのひとに来ていただけますように！

高千穂町国民健康保険病院 広報・接遇委員会委員長 松本 孝博